

新潟県十日町市松之山地域移住体験イベント

「雪里留学体験ツアー」を実施しました！



冬の雪里留学体験ツアー

令和8年1月10日（土）から1月11日（日）の二日間にわたり、「冬の雪里留学体験ツアー」を開催しました。

---1日目---

【10:25～ 集合】

当日朝10時25分、JR越後湯沢駅に、雪里留学に興味があるご家族が集まりました。

ツアー参加者は5歳～40歳代の男女8名で、首都圏方面からお越しいただきました。

今回参加のご家族は、今後の移住についても関心が高く、お子さまの成長や変化において雪里留学が良いのではと期待されていました。

越後湯沢駅からほくほく線に乗車して、まつだい駅に向かいました。

【12:00～ まつのやま学園の説明・施設内見学】

教頭先生より、[小中一貫校まつのやま学園](#)について説明いただきました。この学園で行われている「4・3・2制」の新しい教育システムは、子どもの発達段階に合わせたホップ期（小1～小4）、ステップ期（小5～中1）、ジャンプ期（中2～中3）の3期で構成され、小中一貫校ならではの取り組み。自然科学部やアウトドア部といった学園周辺の環境を活かした部活動、動物飼育や稲作など地域の教育資源を活用した「探求型学習」など、特色ある学びを提案しています。



思い思いに過ごせるアイテム
が揃ったフリースペース



越冬中のカブトムシ
初めて見た幼虫にびっくり

【14:30～ スノーアクティビティ体験】

[松之山温泉スキー場](#)に移動し、エアボードやスノーバイクなどのアクティビティを体験。スキーウェアが初めての方もいましたが、たくさんの雪を存分に楽しんでいる様子でした。学園生の家族も合流し、雪国の楽しみ方を共有して交流を深めました。



最初はまっすぐに滑走しよう



初対面でも打ち解けるのは早い



コツがつかめたらもう夢中！

【18:30～ 地元住民との交流会】

宿泊先である松之山温泉 [白川屋](#)にチェックイン。入浴のあと地元の2家族が参加しての交流会を開催しました。

先輩移住者として、移住のきっかけや松之山での生活の楽しみかたを紹介。地元食材をふんだんに使った料理を堪能しつつ、雪国での生業や子どもの成長についての話題で盛り上がりしました。

---2日目---

【10:00～ 伝統行事体験】

雪国・松之山には、新年の恵みを祈り、家内安全・無病息災を祈願する、小正月の伝統行事があります。里山体験プログラムとして「[森の学校](#)」キョロロで毎年開催される「若木迎え・どんど焼き・花餅飾り」に参加しました。

若木迎えでは、全員がスノーシューを装着して雪深い山に分け入り、今年の恵方である南南東に向けて祭壇を雪で設え、無病息災や五穀豊穡を祈りました。その道中、周囲の水田に積もった新雪にノウサギの足跡を発見し、人の営みと里山の自然が繋がっていることを実感できました。

盛大な炎と煙で年神様が天に帰っていくどんど焼きでは、スルメや身欠きにしんを焼き、縁起物として振る舞われました。



完成した花餅は家で飾ります



今年の恵方に向かって設えた雪の祭壇で無病息災を祈願



プログラムの途中、フワフワの雪を堪能！



いよいよ点火！



スノーシューで山に分け入り、ダンゴの木の枝を目指す



花を模した餅をダンゴの木に飾る

【13:00～ 移住促進制度の説明】

集会所施設・布川カフェに移動し、十日町市の移住促進制度の説明。地元の方言にまつわるクイズを出題するなど、十日町市移住コンシェルジュの演出により和やかな雰囲気で行いました。同席した先輩移住者からは、松之山が市内で最も子育てに適した地域であるとの経験を紹介すると、ツアー参加者からも活発な質問が寄せられ、納得感のあるプログラムとなりました。



Uターンに関する補助金や各種の支援制度が盛りだくさん



先輩移住者の体験談や子育てエピソードを共有

【15:15～ 藤倉ハウス説明&施設見学】

降雪が強くなる中、雪里留学の学生寮・[藤倉ハウス](#)に移動し、入寮の手順や寮生が生活する様子を紹介しました。小学5年生以上など、いくつかの要件を満たせば、子どもだけでの雪里留学が可能になります。玄関に置かれた除雪機械を紹介すると、珍しそうに見入っていました。



子どもが居る時間はスタッフが常駐



ハウスマネージャーが施設内を紹介

【16:30～ まつだい駅で解散】

降雪がいっそう強くなったため、少し遅れてほくほく線まつだい駅に到着。なんとか予定した越後湯沢行きに乗車できました。雪国ならではの体験や、地元の人たちとの交流の深まりをお土産に、帰途について頂きました。